

ほけんだより

薬物乱用防止教室を終えて



令和4年度特別号
上天草市立姫戸中学校
保健室 柴田 美紅

夏休み直前！薬物乱用防止教室開催！

令和4年7月19日(火)に全校生徒を対象とした「薬物乱用防止教室」を開催しました。今年度は、学校薬剤師である本田晃洋先生をお招きし、ご講話いただきました。

毎年、多くの学校で夏休み前のこの時期に開催する「薬物乱用防止教室」。なぜ、夏休み前なのかと言うと、夏休みは学校を離れ、多くの人と接する機会が多くなります。出会う人の中には、お酒やたばこなどに誘いこむ人もいるかもしれません。そういう場面があった時に、**正しい知識を持ち、勇気を出して正しい判断ができるように**夏休み前のこの時期に設定しています。

本田先生のご講話の中で、特に強調して話されたのが、「**薬物乱用とは、たとえ1回使用しただけでも乱用になる!**」ということです。違法薬物は身近に潜んでいる危険です。「1回だけなら…」といった軽い気持ちで依存へとつながってしまうことを強く話されました。また、薬物乱用をすることで、考える力や、記憶する力、運動する力などが失われるだけでなく、**人を思いやる心も失われてしまう**ことも話されました。

他にも、アルコールやたばここといったゲートウェイドラッグについても話されました。アルコールよりもタバコの方が依存しやすいと思いがちですが、サルで行った実験結果からタバコよりもアルコールの方が依存性が高いこと、アルコールもタバコも体に及ぼす影響は多く、特にタバコは自分だけでなく、周りにも害を及ぼす可能性があること等を学びました。

薬剤師のお立場から、様々な専門的なお話を聞くことができ生徒も多くの学びがあったようです。講話後の感想をいくつか紹介したいと思います。



「知らない人や知人に（薬物など）誘われても、しっかり断れるように言葉を考えておきたいです。」 1年 楠本なつきさん

「私は、どんなに好奇心を持って、どんなに誘われても、きっぱり断り、やめたいです。」 2年 梅野そらさん

「薬物は1回したらやめられなくなり、自分だけでなく周りの人も傷つけてしまうので、誘われてもせず、友達などがしていたら止めて、これからの世界に薬物が無くなるようにしていきたいです。」 2年 中原くうがさん

「薬物だと知らなかった。」では済まされないと思うので、友達や先輩からの誘いは必ず断って、もし友達がそういう誘いを受けていたら断るように助言したいです。」 3年 赤穂ゆうたさん

「今回学んだことを将来につなげて、自分の命を守るために正しい判断をしていきたいです。」 3年 寺中ののはさん